

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナカウン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8264 岡山市中区倉富340-18	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内を中心に、クレーン事業、運輸事業、建設機械・機器リース事業、引越しサービス業、観光バス事業等の事業展開をしている。従業員260名程度。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社事業所		岡山市中区倉富340-18	
	②	水島事業所		倉敷市広江1丁目2756-1	
	③	総社事業所		岡山市北区高松田中209-1	
	④	津山事業所		津山市河面1198-1	
	⑤	引越し事業所		岡山市中区倉富330-6	
⑥	高梁事業所		高梁市津川町今津863-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 395 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(令和 元)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	7,017 t CO ₂	5,843 t CO ₂	6,666 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元)年度排出量
	①	本社事業所	4,419 t CO ₂
	②	水島事業所	876 t CO ₂
	③	総社事業所	138 t CO ₂
	④	津山事業所	209 t CO ₂
	⑤	引越し事業所	118 t CO ₂
⑥	高梁事業所	83 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 令和 元 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(元)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	16.7 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(元)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和元年度の実績としては、基準年度(平成26年度：7,017tCO₂)と比較すると上記のとおり削減達成が出来ている。事業所単位で基準年度と比較をすれば、水島事業所以外は概ね削減が出来ている。水島地区での車両稼働と整備関係での電気使用が増加したことが増加の要因だと思われる。また、燃料の使用量は減少傾向ではあるが、燃料単価の上昇による金額面への影響は大きかった。電気使用に関しても、各事業所で節電意識を持った結果だろう。

【推進体制】

- 社内にエコドライブに係る管理責任部署（安全管理部）を設置し、エコドライブの推進体制の整備
- デジタル式タコグラフの活用により、乗務員別・車両別等のエネルギー使用管理体制の整備

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全事業所 (本社, 水島, 総社, 津山, 引越し, 高梁)	(令和元年度実施分) ●貨物自動車に関しては、新型車の導入により機械的な面で燃費性能向上。 ●デジタル式タコグラフによる、速度超過・回転数オーバーの指導を実施。 (今後実施予定分) ●前年同様に、各乗務員に対しては引き続き燃費向上運転の指導と、若手育成を含めて運転指導を実施していく。 ●クレーン車、貨物自動車に関しては、距離等を考慮した効率の良い配車を検討する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--